

**2019年4月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)**

2018年8月30日

上場会社名 株式会社 アインホールディングス  
 コード番号 9627 URL <https://www.ainj.co.jp/>

上場取引所 東 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 喜一

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 水島 利英

TEL 011-814-1000

四半期報告書提出予定日 2018年9月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

**1. 2019年4月期第1四半期の連結業績(2018年5月1日～2018年7月31日)**
**(1) 連結経営成績(累計)**

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期第1四半期	65,013	1.6	3,450	12.9	3,610	12.7	1,851	12.7
2018年4月期第1四半期	66,095	14.3	3,963	73.7	4,135	74.0	2,120	54.6

(注) 包括利益 2019年4月期第1四半期 1,854百万円 (12.7%) 2018年4月期第1四半期 2,123百万円 (53.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第1四半期	52.27	
2018年4月期第1四半期	66.88	

**(2) 連結財政状態**

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年4月期第1四半期	182,663	96,816	53.0	2,731.97
2018年4月期	183,380	96,733	52.7	2,729.44

(参考) 自己資本 2019年4月期第1四半期 96,786百万円 2018年4月期 96,697百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期		0.00		50.00	50.00
2019年4月期					
2019年4月期(予想)		0.00		55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

**3. 2019年4月期の連結業績予想(2018年5月1日～2019年4月30日)**

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	132,350	0.0	7,040	15.9	7,290	15.9	3,740	15.4	105.57
通期	272,870	1.7	17,500	10.8	18,000	10.6	9,260	12.4	261.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年4月期1Q	35,428,212 株	2018年4月期	35,428,212 株
2019年4月期1Q	688 株	2018年4月期	688 株
2019年4月期1Q	35,427,524 株	2018年4月期1Q	31,707,568 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、適宜、当社ホームページに掲載いたします。

(日付の表示方法の変更)

「2019年4月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

(金額単位の変更)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載していましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年5月1日～2018年7月31日)におけるわが国の経済は、個人消費に持ち直しの動きがみられ、企業収益や雇用情勢の改善を背景として、景気は、緩やかに回復しております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規出店及びM&Aによる事業拡大をはじめ、コスメ&ドラッグ事業を推進し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高が650億1千3百万円(前年同期比1.6%減)、営業利益は34億5千万円(同12.9%減)、経常利益は36億1千万円(同12.7%減)となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億5千1百万円(同12.7%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (ファーマシー事業)

2018年4月の調剤報酬改定では、いわゆる門前薬局・同一敷地内薬局の評価が見直される一方、対物業務から対人業務への構造的な転換を進めることを目的として、かかりつけ薬剤師・薬局の評価が推進される内容となりました。

当社グループでは、引き続き、「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能を発揮すべく、地域医療との連携、お薬手帳等を活用した薬剤に関する情報の一元的・継続的な把握とそれに基づく薬学的管理・指導の強化及びジェネリック医薬品の使用を促進しております。また、2018年4月に入社した279名の新卒薬剤師についても、かかりつけ薬剤師としての資質を向上させるべく教育研修を強化しております。

2018年6月には、愛知県为国家戦略特別区域において、全国初となる薬剤遠隔指導事業の登録を行い、オンラインでの服薬指導を開始しております。近隣に薬局がなく様々な事情で来局が困難な患者様に対し、テレビ電話等による服薬指導が可能となることで、受診から服薬指導、薬の授受まで一連の医療サービスを在宅で完結させることができます。当社グループは、本取り組みを通じてさらなる利便性向上と上質な医療の提供に取り組んでまいります。

営業開発においては、調剤薬局の新規出店及びM&Aを活用し、事業規模の拡大を推進するとともに、店舗運営の見直しを進めております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、570億9千万円(前年同期比3.1%減)、セグメント利益は39億8千4百万円(同17.4%減)と減収減益となりました。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計5店舗を出店し、10店舗の閉店により、当社グループにおける薬局総数は1,024店舗となりました。

#### (リテール事業)

コスメ&ドラッグ事業は、同業間による同質化競争、業種間を超えた統合・再編による競合により、なおも厳しい市場環境が続いております。

当社グループでは、このような環境において、コスメ&ドラッグストア「アインズ&トルペ」の首都圏への出店を継続的に実施するとともに、既存店の改装及び関連商品を中心とするMDの強化による集客力向上に努めており、既存店売上高が前年を上回って推移するとともに、前期出店売上高が大きく寄与しております。また、「リップス&ヒップス」及び「ココデシカ」を始めとするオリジナルブランドの展開に加え、昨年度実施した仕入れの見直しが引き続き貢献しており、収益は改善しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、65億5百万円(前年同期比11.6%増)、セグメント利益は3億6千4百万円(同866.1%増)となりました。

同期間は、出店・閉店がなく、コスメ&ドラッグストア総数は48店舗であります。

#### (その他の事業)

その他の事業における売上高は14億1千7百万円(前年同期比5.9%増)、セグメント損失は6千7百万円(前年同期は2億3千8百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より7億1千7百万円減の1,826億6千3百万円となりました。

主な要因は、たな卸資産が増加した一方で、現預金及びのれんが減少したことによるものであります。

負債の残高は、8億円減の858億4千6百万円となりました。主な要因は、買掛金が増加した一方で、未払法人税等及び長期借入金の残高が減少したことによるものであります。

短期及び長期借入金の残高は、6億8千9百万円減となる175億3千8百万円となりました。

純資産の残高は、8千3百万円増の968億1千6百万円となり、自己資本比率は0.3ポイント改善となる53.0%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年6月5日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	63,779	61,725
受取手形及び売掛金	10,466	11,511
商品	9,372	11,014
貯蔵品	208	213
短期貸付金	641	664
未収入金	7,751	7,899
その他	2,470	1,657
貸倒引当金	△131	-
流動資産合計	94,557	94,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,934	14,773
土地	10,041	10,197
その他(純額)	2,878	2,912
有形固定資産合計	27,853	27,884
無形固定資産		
のれん	38,011	37,266
その他	2,121	2,018
無形固定資産合計	40,132	39,285
投資その他の資産		
投資有価証券	2,375	2,320
繰延税金資産	3,772	3,819
敷金及び保証金	11,339	11,414
その他	3,785	3,515
貸倒引当金	△540	△354
投資その他の資産合計	20,732	20,715
固定資産合計	88,718	87,885
繰延資産	103	92
資産合計	183,380	182,663

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	38,728	41,646
短期借入金	6,717	7,486
未払法人税等	4,947	1,577
預り金	12,675	14,162
賞与引当金	1,911	1,663
役員賞与引当金	16	7
ポイント引当金	420	431
返品調整引当金	6	-
その他	4,525	3,764
流動負債合計	69,950	70,739
固定負債		
長期借入金	11,511	10,052
退職給付に係る負債	2,625	2,693
その他	2,560	2,361
固定負債合計	16,696	15,106
負債合計	86,646	85,846
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	21,894	21,894
資本剰余金	20,500	20,500
利益剰余金	54,268	54,349
自己株式	△1	△1
株主資本合計	96,662	96,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84	95
退職給付に係る調整累計額	△50	△51
その他の包括利益累計額合計	34	43
非支配株主持分	36	29
純資産合計	96,733	96,816
負債純資産合計	183,380	182,663

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2017年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)
売上高	66,095	65,013
売上原価	55,034	54,325
売上総利益	11,060	10,687
販売費及び一般管理費	7,096	7,236
営業利益	3,963	3,450
営業外収益		
受取利息	16	13
受取配当金	19	23
受取手数料	20	9
不動産賃貸料	59	48
業務受託料	46	42
その他	102	110
営業外収益合計	265	248
営業外費用		
支払利息	33	25
債権売却損	17	17
不動産賃貸費用	25	16
その他	17	29
営業外費用合計	92	89
経常利益	4,135	3,610
特別利益		
固定資産売却益	1	3
事業譲渡益	5	83
保険解約返戻金	17	-
その他	5	0
特別利益合計	31	87
特別損失		
固定資産除売却損	71	174
役員退職慰労金	70	-
その他	41	80
特別損失合計	183	254
税金等調整前四半期純利益	3,983	3,442
法人税等	1,865	1,597
四半期純利益	2,118	1,845
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,120	1,851

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2017年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)
四半期純利益	2,118	1,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	10
退職給付に係る調整額	△10	△1
その他の包括利益合計	5	9
四半期包括利益	2,123	1,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,126	1,861
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△6



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年5月1日至2017年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファーマシー事業	リテール事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	58,929	5,827	1,338	66,095	—	66,095
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	84	84	△84	—
計	58,929	5,827	1,423	66,180	△84	66,095
セグメント利益又は損失(△)	4,821	37	△238	4,620	△484	4,135

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△484百万円には、全社費用が930百万円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△440百万円、セグメント間取引消去が△5百万円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2018年5月1日至2018年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファーマシー事業	リテール事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	57,090	6,505	1,417	65,013	—	65,013
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	38	38	△38	—
計	57,090	6,505	1,456	65,051	△38	65,013
セグメント利益又は損失(△)	3,984	364	△67	4,281	△671	3,610

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△671百万円には、全社費用が1,109百万円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△427百万円、セグメント間取引消去が△10百万円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。